

## 平成25年度魅力ある学校づくり調査研究事業第2回連絡協議会資料

都道府県・政令指定都市教育委員会名〔茨城県〕

## 1 拠点校及び連携校

区分	学校名	学級数	児童生徒数
拠点校(中学校)	笠間市立岩間中学校	14(2)	424
連携校 (拠点校中学校区 内の小学校)	笠間市立岩間第一小学校	14(2)	349
	笠間市立岩間第二小学校	7(1)	161
	笠間市立岩間第三小学校	13(2)	314

※学級数の( )には、特別支援学級数を内数として記入

※学級数及び児童生徒数は平成25年5月1日現在で記入

## 2 意識調査(アンケート共通項目)(%)

学校種	学年等	実施時期	児童生徒数(人)	ア 学校が楽しい				イ みんなで何かをやるのは楽しい				ウ 授業に主体的に取り組んでいる				エ 授業がよくわかる				
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	
中学校	全学年計	前年①	386	47.4	41.5	9.3	1.8	61.6	33.2	4.0	4.8	21.8	55.6	19.7	2.6	20.2	56.7	20.5	2.6	
		前年②	382	42.4	46.6	8.1	2.9	61.3	31.9	4.2	2.6	26.7	53.4	16.2	3.7	17.3	56.5	22.5	3.7	
		本年①	407	41.3	45.7	9.8	3.2	61.7	33.7	4.0	2.5	27.5	54.5	14.7	3.2	29.7	50.1	18.4	1.7	
		本年②	389	44.2	44.4	9.0	2.3	56.8	35.5	5.9	1.8	28.8	50.6	17.0	3.6	20.4	54.1	21.4	4.1	
	3	中2①	141	39.7	43.3	14.9	2.1	58.2	35.5	5.0	1.4	11.3	55.3	28.4	5.0	12.1	58.2	25.5	4.3	
		中2②	139	33.1	52.5	10.1	4.3	59.7	30.2	6.5	3.6	17.3	55.4	21.6	5.8	12.2	53.2	26.1	6.5	
		中3①	141	32.6	51.1	13.5	2.8	56.0	39.0	5.0	0.0	29.1	52.5	14.9	3.5	17.0	56.7	23.4	2.8	
		中3②	131	45.8	45.8	6.1	2.3	64.1	29.8	3.8	2.3	38.9	46.6	13.7	0.8	17.6	49.6	29.0	3.8	
	2	中1①	130	52.3	42.3	3.8	1.5	66.2	27.2	5.1	1.5	31.1	51.2	17.1	0.8	31.5	56.2	12.3	0.0	
		中1②	124	42.7	50.0	4.8	2.4	55.6	39.5	3.2	1.6	25.8	55.6	15.3	3.2	19.4	57.3	22.6	0.8	
		中2①	125	36.8	51.2	8.8	3.2	60.8	34.4	4.0	0.8	20.8	56.0	20.0	3.2	24.0	48.8	25.6	1.6	
		中2②	118	41.5	44.9	10.2	3.4	45.8	44.1	8.5	1.7	21.2	51.7	21.2	5.9	17.9	49.6	24.8	7.7	
	1	小6①	146	56.2	37.0	6.2	0.7	71.9	24.0	3.4	0.7	23.3	57.5	18.5	0.7	42.5	50.0	6.2	1.4	
		小6②	146	50.0	41.1	7.5	1.4	67.1	28.1	4.1	0.7	20.5	61.0	16.4	2.1	38.4	50.7	9.6	1.4	
		中1①	141	53.9	35.5	7.1	3.5	68.1	27.7	3.6	0.7	31.9	55.3	9.9	2.8	47.5	44.7	7.1	0.7	
		中1②	140	45.0	42.9	10.7	1.4	59.3	33.6	5.7	1.4	25.7	53.6	16.4	4.3	25.0	62.1	11.4	1.4	
	小学校	高学年計	前年①	274	56.6	34.7	7.3	1.5	72.3	22.6	4.4	0.7	34.3	50.0	15.0	0.7	46.0	47.8	5.5	0.7
			前年②	273	50.2	39.6	8.1	2.2	69.6	26.7	3.3	0.4	23.4	60.8	14.3	1.5	46.2	44.7	8.1	1.1
			本年①	291	40.2	45.7	7.9	6.2	61.2	30.9	5.5	2.4	27.1	50.9	17.5	4.5	47.1	43.0	7.9	2.1
			本年②	284	53.2	38.7	7.0	1.1	69.4	26.1	2.8	1.8	31.3	50.0	16.2	2.5	58.8	35.2	4.6	1.4
6		小5①	128	57.0	32.0	8.6	2.3	72.7	21.1	5.5	0.8	46.9	41.4	10.9	0.8	50.0	45.3	4.7	0.0	
		小5②	127	50.4	37.8	8.7	3.1	72.4	25.2	2.4	0.0	26.8	60.6	11.8	0.8	55.1	37.8	6.3	0.8	
		小6①	128	39.1	43.8	11.7	5.5	60.2	33.6	3.9	2.3	28.9	55.5	13.3	2.3	51.6	41.4	7.0	0.0	
		小6②	126	57.9	34.9	6.3	0.8	69.8	26.2	3.2	0.8	34.1	50.8	15.1	0.0	60.3	34.9	4.8	0.0	
5		小5①	163	41.1	47.2	4.9	6.7	62.0	28.8	6.7	2.5	25.8	47.2	20.9	6.1	43.6	44.2	8.6	3.7	
		小5②	158	49.4	41.8	7.6	1.3	69.0	25.9	2.5	2.5	29.1	49.4	17.1	4.4	57.6	35.4	4.4	2.5	

学 校 種 別	学 年 等	実 施 時 期	児 童 生 徒 数 (人)	オ 叩かれたり、けられたり、強く押されたりした				カ 暴力ではないが、いじわるをされたり、イヤな思いをさせられたりした				キ 叩いたり、けったり、強く押ししたりした				ク 暴力ではないが、いじわるをしたり、イヤな思いをさせたりした			
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中 学 校	全 学 年 計	本年①	407	82.6	10.8	5.4	1.2	74.7	16.2	6.4	2.7	83.5	11.5	3.7	1.2	81.6	14.3	2.7	1.5
		本年②	388	96.1	1.5	1.8	0.5	90.2	6.7	1.3	1.8	99.5	0.5	0.0	0.0	97.2	2.6	0.0	0.3
	3	中3①	141	86.5	6.4	6.4	0.7	75.2	15.6	5.7	3.5	86.5	8.5	4.3	0.7	83.0	14.2	1.4	1.4
		中3②	131	99.2	0.8	0.0	0.0	91.6	7.6	0.8	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	98.5	1.5	0.0	0.0
	2	中2①	125	76.0	15.2	7.2	1.6	71.2	19.2	8.0	1.6	79.2	15.2	3.2	2.4	78.4	17.6	1.6	2.4
		中2②	118	95.8	0.8	3.4	0.0	86.4	8.5	2.5	2.5	99.1	0.9	0.0	0.0	98.3	1.7	0.0	0.0
	1	中1①	141	84.4	11.3	2.8	1.4	77.3	14.2	5.7	2.8	84.4	11.3	3.5	0.7	83.0	11.3	5.0	0.7
		中1②	139	93.5	2.9	2.2	1.4	92.1	4.3	0.7	2.9	99.3	0.7	0.0	0.0	95.0	4.3	0.0	0.7
小 学 校	高 学 年 計	本年①	291	78.0	7.6	7.2	7.2	69.4	13.7	9.6	7.2	80.4	10.0	6.5	3.1	81.4	11.3	5.5	1.7
		本年②	283	81.3	13.1	2.8	2.8	76.9	13.3	5.9	3.8	83.3	14.4	0.7	1.1	82.4	15.8	1.8	0.0
	6	小6①	128	76.6	4.7	9.4	9.4	73.4	9.4	8.6	8.6	78.9	9.4	7.8	3.9	80.5	12.5	4.7	2.3
		小6②	125	80.8	15.2	1.6	2.4	77.8	15.1	3.2	4.0	83.3	14.3	0.8	1.6	81.7	15.1	3.2	0.0
	5	小5①	163	79.1	9.8	5.5	5.5	66.3	17.2	10.4	6.1	81.6	10.4	5.5	2.5	82.2	10.4	6.1	1.2
		小5②	158	81.6	11.4	3.8	3.2	76.3	11.9	8.1	3.8	84.2	14.6	0.6	0.6	82.9	16.5	0.6	0.0

※小学校は、連携校の合計

※実施時期の第1回(①)は5月ごろ、第2回(②)は12月ごろに実施したもの

※「オ」～「ク」の項目は、平成25年度から実施

※本年度第2回(②)以外は、「ブロック協議会資料」に記載した数値を記入

### 3 課題・目標・取組

課題	学力の定着に個人差が見られる。また、集団生活の中で人間関係をうまく構築できない児童生徒が見られる。
目標	意欲的に学び基礎学力を身に付け、好ましい人間関係の中で明るく主体的に活動する心豊かな児童生徒の育成を図る。
取組	授業づくりを工夫することにより、基礎学力の定着を図るとともに、集団づくり、豊かな人間関係を充実させ、心豊かな児童生徒を育む。

### 4 意識調査結果の分析

#### (1) 好ましいと思われる事項

小・中共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>「みんなで何かをするのは楽しい」と回答する児童生徒が小・中ともに9割を超えている。2学期は、体育祭や運動会、合唱コンクール、おまつりなどの行事を通して友達と関わり合う機会が多く、絆づくりの場を設定することができた。</li> </ul>
中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年生は「学校が楽しい。」「みんなで何かをするのは楽しい。」「授業に主体的に取り組んでいる。」など、ほぼすべての項目で肯定的な意見が増加している。1年生は小学校6年生のときの調査より、中学に入学してからの調査のほうが肯定的な意見が増加しており、中学校生活にうまく適応できていることがうかがえる。</li> <li>「授業に主体的に取り組んでいる」の項目について、1年生は小学校6年のときの調査より肯定的な意見が向上している。3年生は調査を行うごとに「当てはまる」と回答する生徒が増加している。</li> </ul>

小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「授業がよくわかる」が、5年生で大きく増えている。分かる授業への取組が成果を上げてきた。</li> <li>・「みんなで何かをするのは楽しい」は9割を超えている。学校の中心となって活躍している6年生の学校生活が充実している。</li> </ul>
-----	---

## (2) 好ましくないと思われる事項

小・中共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「授業がよくわかる」は、小学校で増え中学校で減っている。単元や題材など発展的・応用的な学習内容が増えてくることが原因と思われる。</li> <li>・「授業に主体的に取り組んでいる」は、中学校が増え、小学校が減っている。中学生は学年が上がるに従って進路を意識するためと思われる。</li> </ul>
中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生はどの項目も肯定的な回答が減少している。人間関係の変化や学習内容が1年生の時より難しくなってきたことなどが原因と考えられる。2年生の落ち込みについて分析し、改善策をさらに研究していく必要がある。</li> <li>・1年生は入学後の調査で、小学校の時よりも肯定的な意見が増加した項目が多かったが、2回目の調査では減少傾向が見られる。学習内容が少しずつ難しくなってきたことや、人間関係の変化などが原因と思われる。</li> </ul>
小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年や各学校の推移を比べると「授業がよくわかる」という否定的な割合が増えると「学校が楽しい」という肯定的な割合が減る傾向がある。</li> <li>・「授業がよくわかる」ならば「授業に主体的に取り組んでいる」とはいえない。「どう学習すればよいか」がわかるように学習態度や習慣の指導も大切であることがわかる。</li> </ul>

## 5 9月以降の重点推進事項

小・中共通	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 学習習慣を身に付け、個人差に応じた分かる授業展開のための工夫・改善を深める。</li> <li>② 児童生徒が主体となって活躍できる行事の企画と運営を進める。</li> </ol>
中学校	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 学習形態や学習方法、課題、指導過程を工夫し、分かる授業への取り組みを推進することで学習への意欲を高める。</li> <li>② 自分の将来を考え、集団の中で成長する特別活動を工夫し、自己肯定感を高める。</li> </ol>
小学校	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 児童のつまずきを把握し、個別指導を充実させることにより、児童の主体的な学びを引き出す。(全校)</li> </ol>

## 6 取組内容

### (1) 事業実施計画書に記載した月別実施内容

月	小学校で行う主な内容	実施状況	中学校で行う主な内容	実施状況
4月	新入生を迎える会(全小) 授業参観・懇談会(全小) 生徒指導対策会議①(全小) 通学班集会(全小) 配慮を要する児童一覧作成(全小) あいさつ運動(全小) マナーアップ週間(全小)	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	第1回小・中連絡協議会(小・中) 本年度の研究の方向性 研究組織づくり 校内研究推進委員会① 生活状況アンケート① 新入生歓迎会 中学校の生活ガイダンス 生徒指導対策会議①	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
5月	第1回意識調査(全小) 生徒指導対策会議②(全小)	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	第1回意識調査 生徒指導対策会議②	<input type="radio"/> <input type="radio"/>

	小中生徒指導情報交換会①(全小) 授業相互参観(全小) 縦割り班集会(二小)	○ ○ ○	第2回小・中連絡協議会(小・中) 校内研究推進委員会② 第1回魅力ある学校づくり調査研究委員会(小・中) 生活状況アンケート② 生徒指導情報交換会①【小中合同】	○ ○ ○ ○ ○
6月	第1回市教育委員会訪問(全小) 生徒指導対策会議③(全小) 学校生活アンケート①(全小) 授業参観・懇談会(全小) PTA・地域団体奉仕作業(三小)	○ ○ ○ ○ ○	生徒指導対策会議③ 第1回市教育委員会訪問 校内研究推進委員会③ 研究授業 学校公開 4校合同生徒指導部員会①【小中合同】	○ ○ ○ ○ ○ ○
7月	生徒指導対策会議④(全小) 学習相談(一小:3~6年,二小: 全学年,三小:4~6年) 保護者面談(全小)	○ ○ ○	生徒指導対策会議④ 第3回小・中連絡協議会(小・中) 校内研究推進委員会④ 4校合同生徒指導部員会②【小中合同】 生活状況アンケート③	○ ○ ○ ○ ○
8月	保護者面談(一小・三小) PTA奉仕作業(全小:高学年)	○ ○	生徒指導対策会議⑤ 第4回小・中連絡協議会(小・中) 校内研究推進委員会⑤ 研修会①【小中合同】 研修会②【小中合同】 生徒指導情報交換会②【小中合同】	○ ○ ○ ○ ○
9月	生徒指導対策会議⑤(全小)	○	生徒指導対策会議⑥ 校内研究推進委員会⑥ 生活状況アンケート④	○ ○ ○
10月	第2回市教育委員会訪問(全小) 生徒指導対策会議⑥(全小) さつまいも収穫(二小・三小) 三代交流会(一小) 稲刈り(二小:高学年)	○ ○ ○ ○ ○	生徒指導対策会議⑦ 第2回市教育委員会訪問 第5回小・中連絡協議会(小・中) 校内研究推進委員会⑦ 学校公開 ブロック協議会(小・中) 第2回魅力ある学校づくり調査研究委員会(小・中)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
11月	生徒指導対策会議⑦(全小) マナーアップ集会(全小) 学校生活アンケート②(全小) 二小まつり(二小) さんさんまつり(三小) あいさつ運動(全小) 授業相互参観(全小) 第2回意識調査(全小:高学年)	○ ○ ○ ◇ ◇ ◇ ◇ △	生徒指導対策会議⑧ 第6回小・中連絡協議会(小・中) 第2回市教育委員会学校訪問 校内研究推進委員会⑧ 4校合同生徒指導部員会③【小中合同】 第2回意識調査 生活状況アンケート⑤	○ ○ ○ ○ ○ △ ○
12月	生徒指導対策会議⑧(全小) 学習相談(一小:3~6年) 授業参観・懇談会(全小) 人権集会(一小・三小)	○ ◇ ○ ◇	生徒指導対策会議⑨ 第7回小・中連絡協議会(小中) 校内研究推進委員会⑨ 生徒指導情報交換会③【小中合同】	○ ○ ○ ○
1月	生徒指導対策会議⑨(全小) 学校生活アンケート調査(一小) 中学校見学(全小:6年)	○ ◇ ○	生徒指導対策会議⑩ 校内研究推進委員会⑩ リーフレット作成 教育相談 新入生保護者説明会(保護者・6年児童) 第3回魅力ある学校づくり調査研究委員会(小中)	○ ○ ○ ○ ○ △
2月	市教委学校訪問③(全小)		生徒指導対策会議⑪	

	生徒指導対策会議⑩（全小） 学校生活アンケート③（全小） あいさつ運動（二小・三小） 授業参観・懇談会（全小）	生活状況アンケート⑥ 市教委学校訪問③ 第8回小・中連絡協議会（小中） 校内研究推進委員会⑪ 学校公開 研究のまとめ 4校合同生徒指導部員会④【小中合同】
3月	生徒指導対策会議⑪（全小） 6年生を送る会（全小） 奉仕活動（一小:6年） 感謝する会（全小:6年）	生徒指導対策会議⑫ 第9回小・中連絡協議会（小中） 校内研究推進委員会⑫ 小中学校担任連絡会（小中）

## （2）9月から1月中旬までに実施した具体的な取組

### 〔小・中共通〕

#### ① 小・中連携による授業の相互参観

市教育委員会の訪問指導等を活用して、小・中で相互に授業参観を行った。指導案を作成する際には、本時の目標に迫るための手立てをできるだけ具体的に記述するように職員間で検討を重ねた。また、授業の相互参観表を作成して「温かい人間関係づくり」「導入や資料提示の工夫」「言語活動の質を高める工夫」など授業を観る視点を明確にすることにより、授業後の研究協議で的を絞って話し合うことに役立てることができた。



#### ② 小・中合同研修会

すべての児童生徒に分かる授業を実践していくためには、通常の学級における、発達障害や特別支援的な援助指導が必要な児童生徒への配慮も重要である。大学教授を招いて小中合同で研修会を行い、児童生徒の思考や行動の特徴とそれらへの適切な対応、通常の学級における一人一人を大切にしている指導について学ぶ機会を設けた。



#### ③ 中学校の合唱コンクールへ小学6年生を招待

中学校で毎年、秋に実施している合唱コンクールに小学6年生を招待して中学生の歌声を披露した。小・中で連携を図って時間等を調整し、6年生の移動には安全面を考慮して、市所有のバスを活用した。中学校の各学級の歌声を聴いたあと、中学生と小学生が向き合って、6年生の教材である「翼をください」を全員で合唱した。はじめて中学校を訪れる児童もおり、6年生にとっては中学校を知るよい機会となった。



### 〔中学校〕

#### ① 豊かな人間関係づくり

豊かな人間関係づくりを育むために、道徳や特別活動の時間だけでなく、各教科の授業でも「絆づくり」の場となるよう学習課題等を工夫して取り組んだ。必然性のあるグループでの話し合いやペア学習などを設定することにより、生徒同士が関わりをもちながら学習に取り組めるようにした。

また、生徒会活動の充実として、新入生説明会では、来春入学予定の6年生とその保護者に対して、生徒会役員がコンピュータを活用して学校のプロフィールを説明する機会を設けた。さらに、生徒会役員だけでなく、各部活動の部長がそれぞれの部活動の特徴を説明する機会を設けることにより、各自、原稿を用意して熱心に練習して本番に臨み、自尊感情や自己有用感を育むよい機会となった。



## ② 学習指導の改善

生徒の実態をもとに、教授する授業から、わかりたいと思わせるような授業となるように、学習指導の工夫改善に取り組んできた。単元や1時間の授業の中で、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させる指導（語句の定着を図る指導や計算の練習など）と、知識・技能等を活用して、生徒が自ら考え、問題解決に主体的に取り組む能動型学習（様々な考えを引き出したり、思考を深めたりする発問や指導など）の取り上げ方やバランス等について教科部員会を中心に話し合う機会を設け、分かる授業づくりにつなげた。研究授業として、第2学年の国語科では、自分で要約文を作成し（基礎的・基本的な知識・技能）、相互交流の場でお互いの考えを聞き合い、よりよい文章に仕上げる（問題解決に主体的に取り組む）授業を展開し、生徒が意欲的に取り組む姿が見られた。



## 〔小学校〕

### ① 豊かな人間関係づくり

ペア学年による音楽の発表や読書集会、保健集会などを教師のサポートとともに、多くの児童が企画・運営し、参画意識を高めた。児童の持ち味を生かした主体的な活動となり、充足感を得ることができた。（岩間一小）



二小まつりでの保護者や地域の方々とのふれあい活動を通して、交流を深めることができた。また、全児童の心を一つにした「響け！歌声」や縦割り班活動でのさつまいも栽培等を通して、自己有用感を育むことができた。（岩間二小）



縦割り班ごとに、全員で遊びの内容を話し合い遊びのブースを出店した「さんさんまつり」では、商品等の準備、当日の分担も全員で協力して行い、達成感と強い絆が生まれた。（岩間三小）

### ② 学習指導の改善

目標を明確にした上で、意図的にペアやグループでの話し合い活動を授業の中に取り入れた。自分の意見を友達と交流する中で、考えを確かなものにした。新たな気づきを発見したりして、理解を深めていくことができた。また、自分の言葉でまとめる活動を徹底したことで、より一層の定着が図れた。（岩間一小）

ねらいを明確にし、意図的な関わり合いの場を設定することを通して、学習への意欲を高め、子ども同士の学びを深めることができた。また、振り返りの時間を確保することで、学んだことの確実な定着を図ることができた。（岩間二

小)

見通しを立て、自分の考えを図や言葉・式で表現するなど、言語活動の充実を意図した様々な取り組みにより、できたことへの自分なりの充実感や、友達と関わり合いながら学習する楽しさを多くの児童が実感できた。(岩間三小)



## 7 1月中旬までの取組状況と課題（第2回意識調査結果を踏まえた内容を含む）

### （1）順調に進んでいる事項及びその要因

	順調に進んでいる事項	主な要因
小・中共通	① 個人差に応じた分かる授業展開のための工夫・改善。 ② 児童生徒が主体となって活躍できる行事の企画と運営。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導案検討会</li> <li>・相互授業参観</li> <li>・生徒会児童会活動の充実</li> </ul>
中学校	① 分かる授業の推進（学習形態，学習方法，課題，指導過程を工夫など） ② 連帯感や所属感などの豊かな人間関係づくり，リーダーの育成や自己肯定感の高揚。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視点を明確にした研究授業</li> <li>・教科部員会での指導案検討</li> <li>・生徒が活躍できる場の工夫</li> <li>・役割の明確化</li> </ul>
小学校	① 児童の交流の場の確保と振り返りの時間を重視した学習活動。 ② 児童生徒が主体となって企画・運営し，一人一人が自己有用感をもてるような異学年交流や特別活動の工夫。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の共通理解による学習指導の充実</li> <li>・児童が活躍できる場の工夫と児童の意欲の向上</li> </ul>

### （2）課題となっている事項及びその要因

	課題となっている事項	主な要因
小・中共通	① 個人差に応じた分かる授業展開のための工夫・改善。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合い，学び合いのための課題設定の工夫，場の設定の工夫</li> </ul>
中学校	① 学習形態や学習方法，課題，指導過程を工夫し，分かる授業への取り組みを推進することで学習への意欲を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合い，学び合いの工夫</li> <li>・評価を学習意欲へつなげる工夫</li> </ul>
小学校	① 授業に主体的に取り組む児童をさらに増やす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人差に応じた児童へのきめ細かな配慮</li> </ul>

## 8 1月中旬以降の重点推進事項

小・中共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 授業づくりを工夫することにより，個人差への対応と基礎学力の定着を図る。</li> <li>② 児童生徒が互いに関わり合う場の設定の工夫。</li> </ul>
-------	--

中学校	①「学び合い」を基盤とした「分かる授業」の推進 ②生徒主体による活動や企画・運営のための指導の手立ての工夫
小学校	①基礎基本の定着と個人差に応じた指導の充実 ②次年度に向けた学習面や生活面の見直しと改善

## 9 教育委員会の取組

### (1) 市町村教育委員会

#### 〔重点推進事項〕

- ・ 調査研究事業の推進と明確な方向性の確認，小中連絡協議会での助言・指導
- ・ 各学校への定期的な訪問指導及び研修会の企画・立案
- ・ 生徒指導情報交換会への参加と助言指導及び関係機関との連携強化

#### 〔課題と成果〕

- 定期的に小中連絡協議会を開催することにより，本事業への見通しをもった取り組みと具現化ができた。
- 学区内 P T A を交えて開催した調査研究委員会で家庭と連携して取り組むことができた。
- 第 2 回の意識調査では第 1 回目の意識調査と比べ全体的に肯定的な意見が多く見られた。また，中学校の第 1 学年では不登校生徒数が 0 であった。
- 小・中連携，小・小連携，P T A との連携を推進する取り組みでは，情報交換や共通理解での取り組みをする話し合いの時間を確保することが難しかった。

### (2) 都道府県教育委員会

#### 〔重点推進事項〕

- ・ 事業の方向性及び進捗状況の確認
- ・ 効果的な取組を図るための助言
- ・ 県内各小中学校及び市町村教育委員会への取組成果の周知

#### 〔課題と成果〕

- 県内のすべての市町村教育委員会等の参加によりブロック協議会を開催したことで，各市町村教育委員会への研究成果の周知を図ることができた。
- 県主催の生徒指導関係合同連絡協議会での実践発表により，広く研究成果の周知を図ることができた。
- 事業の方向性や進捗状況の確認等については，市町村教育委員会担当者と連携し，対応することができた。
- 効果的な取組についての助言指導については，拠点校及び連携校へより多くの訪問の機会を設定する必要がある。

## 10 関連 URL (※本事業に関連するものがあれば、ご紹介ください。)

なし

### 【問い合わせ先】※都道府県・政令指定都市教育委員会担当者

所属	茨城県教育庁義務教育課		電話	029-301-5239	
職名	指導主事	氏名	春原 孝政	よみがな	すのはらたかまさ